

「感染症との闘い」

この度、日本学術会議第二部(生命科学分野)部会の開催に合わせ、最近、特に問題となっている新興・再興感染症や多剤耐性菌に焦点を当て、これらと闘う第一線の研究者による講演会を企画しました。

感染症は有史以前から人々を苦しめ、その脅威は今も変わっていません。昨年起こった西アフリカでのエボラウイルスの流行は、致死率の高さから世界を恐れさせ、本年5月には韓国でMERS感染が広がりました。しかし、むやみに感染症を恐れるのではなく、科学的に対処することが重要です。本講演会を通し、感染症に対する理解を深め、適切な対応につながることを願います。

日時

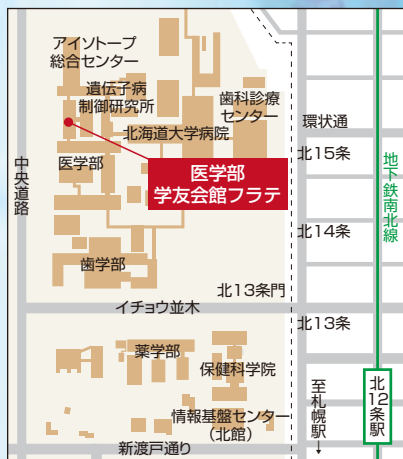
入場無料 どなたでも
参加できます

平成27年**8月5日(水)** 13:30~16:35

場所

北海道大学医学部
学友会館「フラテ」ホール

※医学部正面玄関からお入りください
(札幌市北区北15条西7丁目)



プログラム

- | | |
|---------------|---|
| 13:30 | 開会挨拶
大西 隆(日本学術会議会長・第三部会員、豊橋技術科学大学学長)
山口 佳三(北海道大学総長) |
| 13:40 | 講演 「“鳥”インフルエンザと“新型”インフルエンザの誤解を解く」
喜田 宏(北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター特任教授) |
| 14:15 | 講演 「アジアに出現した新興感染症 —ニパウイルス感染症—」
甲斐知恵子(日本学術会議第二部会員、東京大学医科学研究所教授) |
| 14:50 - 15:00 | (休憩) |
| 15:00 | 講演 「SARSとMERS:動物由来コロナウイルスによるヒトにおける感染症の病態、疫学、そして、対策」
西條 政幸(国立感染症研究所ウイルス第一部部長) |
| 15:30 | 講演 「エボラウイルス —研究の現状と展望—」
高田 礼人(北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター教授) |
| 16:05 | 講演 「「多剤耐性菌」にいかにか立ち向かうか」
石黒 信久(北海道大学病院感染制御部長) |
| 16:35 | 閉会挨拶
笠原 正典(北海道大学大学院医学研究科長) |

主催:日本学術会議第二部、日本学術会議北海道地区会議
共催:北海道大学
後援:北海道新聞社、日本医歯薬アカデミー、日本学術協力財団

◆ 参加申込・お問い合わせ先

日本学術会議北海道地区会議事務局(北海道大学 研究推進部 研究振興企画課)
TEL:011-706-2155・2166 FAX:011-706-4873 E-mail:suishin@general.hokudai.ac.jp
電話、FAX または電子メールで7月31日(金)までに上記へお申し込み下さい。
(当日受付も可)

